

令和4年度 地域まちづくり活動助成金 成果報告会 発表資料

区分	団体名	事業名	頁
スタート支援	健康ハッピーサロン くさか	(孔舎衛公民分館を活動の拠点とし、三期〈導入期・成長期・成熟期〉で地動の活性化に取り組む) 一人でも、三世代でも、共に楽しめるストレッチ教室をめざして 健康ハッピーサロン くさか	1
	サロンとまり木	サロンとまり木「健脳教室」	2-4
	やどり木	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ	5-11
	特定非営利活動法人音頭座がらく	新しい形の祭り・盆踊りイベント提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～	12-14
	Na-no-Hana.	菜の花フェス～ままのわを広げよう～	15-17
	タグラグビー-KRASH!	小学生対象のタグラグビー活動	18-19
	特定非営利活動法人多言語・多文化サポート ICHI	外国人住民の声を聞いて、私が／私もできる支援を考えよう	20-21
	NPO法人リード	ラグビーのまちで、幼児～大人がラグビーを楽しむイベント会	22-23
	石切のわ	旧石切一番館改修プロジェクト	24-27
特定非営利活動法人フリースペースかんの	～学校に行きにくい児童生徒へいろいろな機会を与える～ (はじめの一步！)	28-30	
事業チャレンジ	東大阪中小企業会長倶楽部	夢プロジェクトの推進～夢ワークショップの実施と夢大賞の表彰～	31-32
	ハニカム東大阪	親と子どもをサポートする地域の子育てコミュニティづくり	33-36
	社会資源開発研究会	若年性認知症や高次脳機能障害の当事者とその家族、ヤングケアラーを支える新たな地域支援ネットワーク構築事業	37

一人でも、三世代でも、共に楽しめる
ストレッチ教室をめざして

健康ハッピーサロン くさか

代表 今西 洋二

スタッフ： 中明貴史、酒井浩一郎
西川和代、植村貴美、川村富美子、

活動実績

令和2年公民分館利用実績：65歳以上利用者率が**93%**と激増
打開策 → 「ハッピーサロンくさか」立ち上げ
主議案は、「若い層に関心を持って頂くには」
予算の問題から10月から開催となる（以下、参加実績数）

開催回数	開催日	参加者数	内65歳以下	占める割合
第1回	10月2日	10名	2名	20.0%
第2回	11月6日	6名	1名	16.7%
第3回	12月4日	16名	1名	6.0%
第4回	1月8日	12名	2名	16.7%
第5回	2月5日	17名	3名	17.6%
第6回	3月5日	18名	6名	33.3%

事業成果・効果

1. 半年の活動うち、後半3回で広報（口コミ）が広がり、
参加者数は定員18名（コロナ禍における公民分館利用制限数）
にまで増員
2. うち、65歳以下参加者が3人に1人（33.3%）まで上がった。
* 令和2年度年間65歳以下利用者率が7%という実績であった
3. アンケート結果（32名）より
ヨガ : 「満足」 100%
健康講座 : 「満足・やや満足」80%、無回答13%、
インスタに挑戦 : 「満足・やや満足」67%、
「どちらでもない」13%、無回答20%

今後の事業展開

次年度の課題

ヨガ体操は継続、健康講座とインスタに挑戦は年代に合わせたものが出来るか

次年度目標

子ども会はじめ、青年団や女性部、また一層小中学校にも出向き、
重層的な支援を得られるように努める。

将来像

5年後、10年後には、以前のような公民分館利用者のうち65歳以下の方が20%近くになり、公民分館を核とした地域活動が活発になるように、自治連合会等の皆様と連携を図っていきたい。

令和4年度

活動成果報告

サロンとまり木 | 健脳教室

団体紹介

- ◆布施駅前市民プラザ“夢広場”で活動を実施
- ◆長堂校区自治会、福祉委員会の協力を得て、老人会がスタッフとして企画・運営をしている
- ◆地域住民が気楽に集い、交流し、絆を深めるとともに、認知・介護予防、健康維持のための活動を行う




事業目的

超！高齢化社会

- ・1人暮らし
- ・地域との繋がりが薄い

↓

- ・孤立
- ・体力低下


健脳教室 

- ・地域の人たちの絆を深める
- ・安心して暮らせる地域づくり
- ・体力づくり
- ・介護予防、認知予防

活動実績

コグニラダー運動

体と脳の運動に取り組みます。
 毎回、スタッフの指導によって実施しました。
 転倒防止、認知症予防、体力づくりなど
 様々な効果があります。



活動実績



公文(くもん)

今年度の新プログラムの公文では、「頑張る脳」教室で脳を活性化!

読み書き、計算、文章読解。

参加者全員、脳が熱くなりました!

※東北大学・川島隆太教授の研究をもとに開発されたトレーニングを実施



活動実績

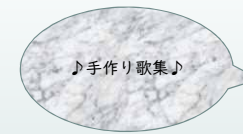


歌

プログラムの最後は、毎回みんなで歌を唄います♪

指導者はスタッフで、懐かしい思い出の歌をみんなで歌うことで心が豊かになりました。

口をあけ、声に出して、リズムに乗ることで健脳に一步前進!



活動実績



季節を感じるイベント

- ・12月は**クリスマス**お楽しみ会でスタッフがサンタになって健康学習
- ・1月は**お正月**「伝統芸能・どじょうすくい」

みんな楽しく参加でき、憩いの場になり交流も深まりました。



成果・効果 (参加者の声)

・体操を日課に取り入れるようになり、毎日の体調が良くなりました。

・引っ込み思案だったけれど、、、外に出てみんなと交流できる楽しさをいただきました。

・コーラスサークルが無くなってしまったので、毎回、みんなで歌う時間があったてうれしいです。

・友達を誘いあって参加できたので、**地域の輪**が広がりました。



地域の輪 🔍



さいごに



3回のスタート支援をいただき、今回で卒業となります。今年度は、新たに参加費を集めたり、協賛金をいただいたり、新しいことが満載でした。

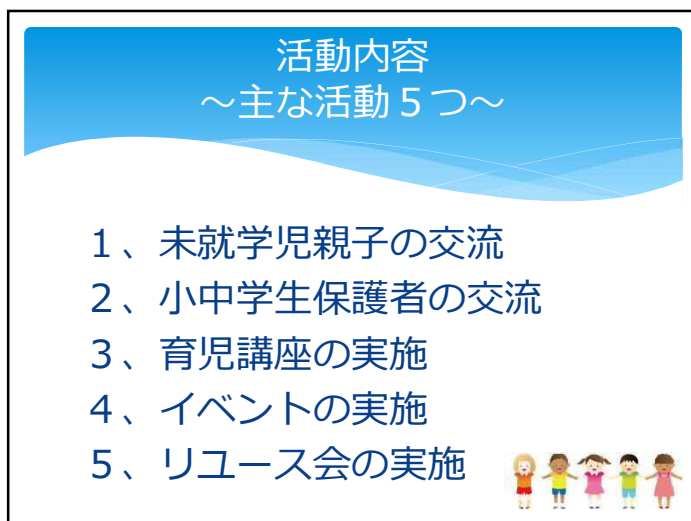
サロンとまり木「健脳教室」として地域に根付いてきた事が実感できます。

YMCA、レーベンスポルト、角田老人センター、布施医師会、明治安田生命、公文、社会福祉協議会などなど、様々な人たちに協力いただき、コロナ禍でしたが、一度も中止せずにやり遂げました。

これからは、小規模になりますが、各地域の公民館などで引き続き活動していきます。

ご清聴、ありがとうございました。





活動実績
1、未就学児親子の交流


【0-6歳ママのおしゃべり会】



四条市民プラザ

活動実績
2、小中学生保護者の交流

【小中学生ママのおしゃべり会】



四条市民プラザ

活動実績
活動1 & 2を統合

NEW【やどり木開放日】

- * 未就学児親子と、小中学生の保護者を分けだてなく交流するため
- * だれでも参加できる日へ

四条市民プラザ

活動実績
1 & 2 開放日

NEW【あいおと会】




四条市民プラザ

活動実績
3、育児講座の実施
【足育 お靴のお話会】
* 理学療法士の先生に講座を依頼



四条市民プラザ

活動実績
3、育児講座の実施
【口育 歯並びと虫歯の話】
* 歯科衛生士さんに講座を依頼



四条市民プラザ

活動実績
3、育児講座の実施
【性教育 命と性のお話会】
* 助産師さんに講座を依頼



四条市民プラザ

活動実績
3、育児講座の実施
【食育 おうちパン】
* おうちパン講師に講座を依頼



四条市民プラザ

活動実績
3、育児講座の実施

【金融教育 キッズマネー講座】

* ファイナンシャルプランナーに講座を依頼



ふれあいホール

活動実績
4、イベントの実施

【やどり木祭り】

* わなげ、制作、絵本コーナー
ママの癒しコーナー など



四条市民プラザ

活動実績
4、イベントの実施

【やどり木スタッフ】

* 総勢30名がやどり木の活動を支えています



活動実績
4、イベントの実施

【こどもの居場所づくり】

* 夏休みと冬休みに異年齢交流を



四条市民プラザ

活動実績 5、リユース会の実施

【ぐるぐる会】

* ハロウィンやクリスマス会で開催



**やどり木
～ぐるぐる会～**

◆使わなくなったアイテム◆
必要としている方にお渡しし
イベント券《200円分》をget

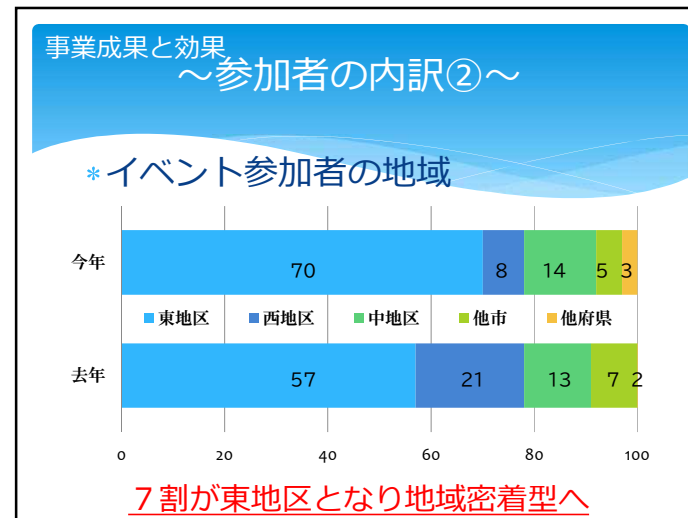
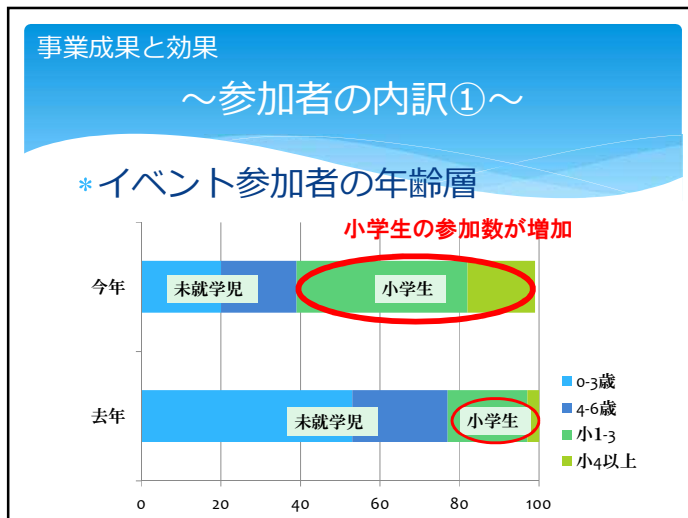
◇必要なアイテム◇
不要になっただけから譲り
お預けするつなご基金へ

つなご基金
基金は全て全額に使用し、まわりにまわってお渡し
人とモノとお金が循環できるよう取り組みます！

東体育館

事業成果と効果 ～申請時の目標と結果～

- ①毎月活動を4回以上実施
月平均6回で**達成**
- ②公式ライン登録者200名以上
現在207名で**達成**
- ③育児講座の参加者が定員の90%
平均50%以下で**不達成**



今後の事業展開

今年度の活動
+
①こどもの居場所づくり
②講座内容を充実

(今年度は活動の継続することに重点を)

今後の事業展開
～①こどもの居場所づくり～


こどもたちが安心安全に
地域で集える場所づくりを！

大学生や地域の方などのボランティア

やどり木⇔地域

今後の事業展開
～①こどもの居場所づくり～

放課後等デイサービスでの
食育 パン講座を開催予定



さまざまな子どもたちが参加できる
やどり木へ

今後の事業展開
～②講座内容を充実～

- 走り方講座
* 足育講師に実践講座
- 親学習講座
* 教育委員会主催の講座を導入

知るきっかけ作りを！

他の団体や市民に協力してほしいこと

***お伝えください！**

一人でも多くの方に知ってもらうために
やどり木の活動の様子を！



***探しています！**

チラシを掲示していただける方
活動のお手伝いをしていただける方

やどり木は・・・

令和5度も助成金事業の継続が決定！！


東大阪が子育てしやすい街になるよう
孤独な子育てにならないよう
活動します！



完




ご清聴ありがとうございました



令和4年度 東大阪市地域まちづくり活動助成金成果報告会
スタート支援部門


新しい形の祭り・盆踊りイベント提案
～地域交流機会の創出と活性化～

特定非営利活動法人音頭座がらく



事業名

新しい形の祭り・盆踊りイベント提案プロジェクト
～地域交流機会の創出と活性化～



事業の概要

こどもから大人まで(三世代・四世代)が楽しみ、各自治会の負担が少ない「新しい形の盆踊り提案」を行い、地域住民の交流を深める機会を提供し、日本の祭りや盆踊りに対する社会的関心を高めて地域社会の活性化を図る。

2

事業の目的(地域課題・社会的背景)

現代の祭りや盆踊りは、各市町村の自治会が主催する事が多く、各自治会の役員等も高齢化と後継者不足が進み、また、資金(主に寄付金)調達の問題で祭りや盆踊りの開催を断念するところが増えており、地域での人々の交流の場が無くなり、伝統文化の衰退が危惧されております。


そこで、各自治会の負担の少ない盆踊り提案を行い、地域住民の交流を深める機会の維持・拡大を目指し、地域社会の活性化の一助を担う事を目的とする。



事業の具体的内容

祭りや盆踊り、各種イベントの企画・構成・施行に関する意見交換会やインターネットによる情報発信を実施すると共に、河内音頭の練習生・研修生の募集と講習会を重ねて次代の担い手となる住民の参加機会を作る。

また、地域住民の世代構成に合せた企画と会場準備・設営から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案」イベントを開催し、インターネットでも中継することにより、来場者以外にも広く訴求する。



活動実績と成果・効果

〈祭りや盆踊り、各種イベントの意見交換会の実施〉

※ホームページ、各種SNS等で告知

- ① 7/2(土)友井地域(御剣神社会議室):参加人数7名
- ② 9/25(日)中石切地域(だんけ石切会議室):参加人数6名



具体的な課題の確認と対策案を検討

・役員の年齢、会場調整、資金集め、会場設営、運営、後片付け、他

5

活動実績と成果・効果

〈河内音頭講習会の実施〉※ホームページ、各種SNS等で告知

- ① 8/28(日)東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 8名
- ② 10/31(月)大阪府営大東寺川住宅集会所 :参加人数 10名
- ③ 11/6(日)東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 8名
- ④ 1/8(日)東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 8名



従来の師弟関係による口伝という形式ではなく、参加条件を極力設けずサークル的な気軽さで参加していただき、ほぼ同じメンバーがリピーターとなり、ステージ出演が実現。

6

活動実績と成果・効果

〈新しい形の盆踊り提案イベント「新春”音頭まつりin東大阪」開催〉

※インターネットラジオ番組、ホームページ、各種SNS等で告知

1/15(日)東大阪市文化創造館多目的室:入場者数 120名



従来の音頭愛好家だけでなく、世代やジャンルをこえた来場者が楽しめる空間と時間の共有を実現。インターネット同時配信！

7

新しい形の盆踊り提案イベント【「新春”音頭まつりin東大阪」】
音頭座がらく YouTubeチャンネルでダイジェスト版公開中！



8

今後の事業展開

次年度も引続き【新しい形の祭り・盆踊り提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～】をテーマに取り組み、「社会的弱者が参画できる環境モデル構築」に向けて、障害をもっている子どもやその家族も準備段階から参加するモデルケースと地域住民の世代構成に合わせた企画と会場準備・設営・から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案イベント」開催を行い、インターネットでも配信することにより、来場者以外にも広く訴求する。

菜の花フェス 実施報告書

Na-no-Hana.

事業概要

- 1.子育て世帯のリアルでの接点を作るために、
東大阪の子育て世帯を ターゲットにしたイベントを開催
- 2.さらに繋がりを強化したサークル活動を通じて、
ママ同士の情報交換を実施
- 3.市内の公園MAPを制作・配信

1.菜の花フェス 花園中央公園

- ・ 10月1日(土) 10:00~16:30
- ・ 花園中央公園 噴水前
- ・ ハンドメイド雑貨やワークショップ、
キッチンカーなど35ブース
- ・ キッズから大人まで楽しめるマル
シェ
- ・ 東大阪市後援
- ・ 来場者数 1000名以上
- ・ 来場者満足度 96%



3月23日(木) 10:30~15:00
文化創造館 多目的室 創造支援室D1、C1、2 イベント実施

1.菜の花フェス 協賛企業様

- ・ 花園中央公園
- ・ 文化創造館
- ・ 株式会社マンナンライフ
- ・ 株式会社サクラクレバス
- ・ 森永乳業株式会社南近畿営業所
- ・ 株式会社ティーレックス
- ・ 株式会社チーリン製菓
- ・ 株式会社車屋
- ・ 枚岡交通株式会社
- ・ 株式会社チーリン製菓
- ・ 明治安田生命 布施営業所
- ・ 株式会社クナイブジャパン
- ・ 佐伯興業株式会社
- ・ サラヤ株式会社
- ・ 株式会社MIMA
- ・ 株式会社ナチュラルラボ
- ・ 明治安田生命 布施営業所
- ・ 佐伯興業株式会社
- ・ マルタマフーズ株式会社



2. サークル活動 #ナノハナ部

- 7月20日(水)10:00~12:00
- 場所 若江岩田駅前市民プラザ和室
- 参加者 5組11名
- 親になったばかりの方や少し子供が大きくなった方など様々な年齢層の方が集まった。近辺のお店や遊び場の情報交換を行った。
- この場で仲良くなり、関係を続けて行くママもいる
- 年間参加者 38組72名



2. サークル活動 #ナノハナ部 クリスマス会

- 12月21日(水)10:30~13:00
- 場所 布施駅前市民プラザ 多目的
- ハイハイレース/ボーリング/わなげ/紙皿リースづくり 写真フォトを実施
- ゆにこーん保育園の方によるパネルシアター
- 参加費 500円
- 参加者 10世帯20名



3. 東大阪公園マップの制作

- Instagram「ままのわ@東大阪」にて配信してきた東大阪市内の公園レビューを元に、東大阪のママたちの口コミを集めて作った、東大阪公園マップ
- 公園近辺の商店23店舗が協賛
- 初版3000部
- イベントや子育て支援センターや保健所での配布予定



SNSでの発信力/イベント集客力の強化

発信力強化に注力し、ママ同士のコミュニケーションの活発化を実現
主力事業であるイベント来場者数の増加も達成

	2022/4時点	2023/3時点
Instagram フォロワー	980名	1520名
公式LINEお友達	181名	769名
イベント来場者	800名	1000名以上



今後の展望

- ・ 2年間助成金を受けて、ただのママ達だった私たちが、地元商店・行政・子育て中のママさんとこの2年たくさんの人と関わり合うことができた
- ・ 去年よりも協賛企業も増え、助成金システムの理念である「将来を担って自立・継続した活動」が可能と判断し、来期の助成金チャレンジはしない決断
- ・ 東大阪での大きなイベントの開催、公園マップのさらなる進化
- ・ プレママや子育てし始めのママが求めるものを今後も更なる形で追い求めていきたい



タグラグビー-KRASH!





令和4年度
**地域まちづくり
活動助成金活動
成果報告会**
＜スタート支援部門＞

特定非営利活動法人
多言語・多文化サポート
ICHI

事業名
外国人住民の声を聞いて、私が／私もできる支援を考えよう

目的 外国人住民に必要な支援活動を続けながら、より多くの市民と「私が／私もできる支援」を考える機会も設け、外国人、日本人住民の力を活用し、よりよい地域づくりを目指す。

実績

- 1) 多言語・多文化謎解きイベント「なぞとき世界旅行」
- 2) お料理ワークショップ
- 3) 多言語ワークショップ

1) 「なぞとき世界旅行」

日時	参加者	スタッフ (日本人/外国人)
7月10日(日)	22名	13名 (7/4)
7月30日(土)	15名	10名 (6/4)
2月12日(日)	35名	14名 (5/9)



8カ国の文化や言語に触れました！




Answer : A.ita B.dalawa C.tatio





2) お料理ワークショップ


日時	参加者	スタッフ (日本人/外国人)
9月10日(土)	14名	6名 (5/1)




あいさつ	日本語	ペルシア語	カタカナ
ありがとうございます	تشكر	モクシャツケラ	
こんにちは	سلام	サラーム	
さようなら	خاتمة	コダハフェーズ	
たべるとき	يتناولون الأكل	チヌメツラ ヘラ ハマネラ セン	
たべたあと	بعد الأكل	ダステシマ ダルドナコネ	



お米が柔らかくなるまで煮て
ザランを濾ぎます



ざとろ、バター、ローズウォーター
を入れて1時間くらい混ぜます



型に入れてデコレーションします

今日の謎 今日覚えてほしい言葉	日本語	ペルシア語	カタカナ
みてください	لطفاً، كى	ロトク ファン	ネダコシ
きいてください	الطفا، كى	ロトク ファン	ダシューコン

2) 多言語ワークショップ

日時	参加者	スタッフ (日本人/外国人)
3月12日(土)	18名	16名 (9/7)



事業の成果・効果

外国人住民の
情報発信と活躍の場の構築

それぞれができること、
活動への参加を考える機会

継続的なイベント参加者、
運営側への参加の希望

オンラインブースを設け、
オンライン化の進展

今後の事業展開

- ・ 活動形態（時間帯や形式）の調整
- ・ 企画段階からより多くの地域住民の協働

↓
活躍の場づくり
つながれる場づくり



本助成金のイベントやオンライン日本語交流会、
外国につながる親子の教室も行っています。
イベントの企画・運営、SNSによる広報等、
趣味や特技を活かしませんか？国籍年齢不問です！

ラグビーのまちで
 幼児～大人がラグビーを楽しむ
 イベント

NPO法人 リード

1：ラグビーの「まち」へ

・花園ラグビー場がある！

・見たことがある！



- ・「ラグビーをやってみる」：少
- ・「興味・関心がある」：少

・気軽に・運動で・教えて欲しい

- 1：習い事じゃない！
- 2：花園ラグビー場で、「運動をする休日」のヒトツへ。
- 3：現役ラグビー選手・元プロ選手から「学べる」

参加者 合計163名
 2022～2023：計6回



小学生 6回
131名



幼児 2回
19名



親子 1回
13名



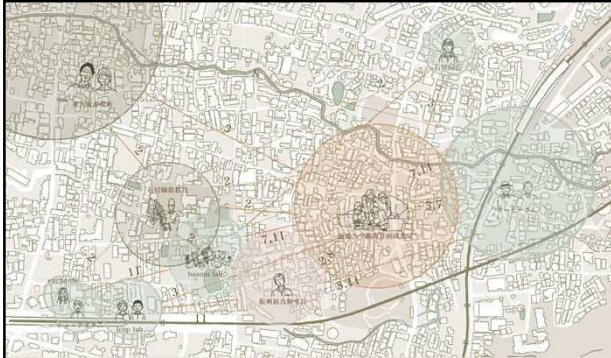
幼児・小学生・大人が
ラグビーを楽しみ・繋がれることで
活気あふれる
「ラグビーにまち」らしい
まちづくりに貢献。

自立・継続的にまちづくり活動をしていくための改善点、新たな取組

地域の企業や団体等との関わりを強め、
協力・共同しながら、
今後も「ラグビーのまち」にふさわしい
ラグビーを通じたまちづくりに繋がる活動を。

令和4年東大阪市まちづくり
助成金事業発表資料

石切のわ



石切のわとは…

近畿大学の研究室と、その卒業生、地元の建築士、地域の地主さんらが集まり石切の地域住民が主体となるようなまちづくりを行う団体である。

baamu.lab…地元の建築士と研究室のOB・OGによるまちづくり会社 Besten Dank Imbiss…地域イベント会社
石切山荘…国際交流を目的としたゲストハウス Enchante / シェ・アオタニ / leap lab…地域商店

石切のわ

— MISSION —

まちへの関わり方の選択肢を増やす

ひととまちとの関係を見つめ直し
気づいたら街に関わっている仕組みをデザインします

たとえば・・・
処分する予定だった家具や廃材が誰かのために使われている
自分の好きな本を紹介・共有したら、後日感想が返ってくる
自分の畑で採れた野菜が街のレストランで使われている
街の人とおすすめのお店をメッセージカードで間接的に会話ができる

地域交流拠点 ひらくきち



企画 設計 施工 運営

石切のわ

地域交流拠点 ひらくきち



地域交流拠点 ひらくきち



地域交流拠点 ひらくきち



地域交流拠点 ひらくきち



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
地域参加型DIYワークショップ 壁面塗装



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
地域参加型DIYワークショップ 屋台製作



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
地域参加型DIYワークショップ ペンダントライト製作



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
地域参加型DIYワークショップ 建物の装花ワークショップ



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
ひらくきちのきちびらき (マルシェ・イベント)



地域交流拠点 ひらくきち 令和4年度活動内容
ひらくきちのきちびらき (マルシェ・イベント)



令和5年東大阪市まちづくり助成金事業の内容



今の状況に交流を促す仕掛けが必要



本

家具

まちの商品を発信する展示台

これらの要素を地域で使われなくなったものや廃材を活用し、地域住民の方と一緒にリメイク

令和5年東大阪市まちづくり助成金事業を通して地域に与える影響

— VISION —

困ったときは地域内で借り、余裕のある時は共有する社会の実現

地域内で使われなくなったものを地域内で再利用

地域参加型DIYWSを通じて、本棚や家具など身近なものは自分たちで作れる直せることを学び、欲しい場所・まちも自分たちで作れる、住んでいる自分たちが作るということを共有する

～学校に行きにくい児童生徒へ
いろいろな機会をあたえる～

はじめの一步！

フリースペースかんの

▶ 目的

- ▶ ・ きっかけ作り
- ▶ ・ 地域で取り組む
- ▶ ・ 学校に行かなくてもいい選択

活動内容

- ・ 場所づくり
(カフェ、自宅1F)
- ・ ワークショップの先行予約



フリースペース活用法



お魚いっちゃん



アウトドア講座



かんで餅つき体験



かんの4重奏&ストレッチ



- ▶★成長・発展
- ▶・自治会館の利用
- ▶・木曜日、夜のフリースペース開放

- ▶★反省
- ▶・学校との連携
- ▶・不登校児童生徒の事前予約

- ▶①コミュニティハウス八丁目、フリースペース
- ▶ かのInstagramで告知
- ▶②カフェの店内で表示
- ▶③学校へのチラシ配布
- ▶④加納地区のお店の外へのポスター張りだし

不特定多数の参加者を募る方法

- ▶①ほかのグループとの交流
- ▶②保護者の交流会
- ▶③地域の人々の特技
- ▶ + 学校に行きにくい児童生徒の特技
- ▶④高校生も対象に！

次年度以降の活動ビジョン



東大阪中小企業会長倶楽部

夢プロジェクトの推進

～夢ワークショップの実施と夢大賞の表彰～

東大阪中小企業会長倶楽部

2023年3月26日

会長倶楽部の概要

会長：㈱アドバンス会長 安川昭雄
 発足：平成27年 会員：15名（中小企業他）
 事業：毎月例会（ものづくり・スポーツのまちづくり・夢づくり）



コロナ関連グッズ開発



文楽人形の雅會



大商大バスケ練習見学

ものによる豊かさの限界
 ↓
 心の豊かさこそ幸せの源泉
 ↓
 夢への挑戦と実現

同僚様

鳩まめ倶楽部HPより



東大阪中小企業会長倶楽部

事業実施結果



【1】夢ワークショップの実施
 ①R4年5/18会長倶楽部と関係者24名②R4/8/24城東工科5名③R4.11.26野田金属工業28名④R.4.12.17城東工科OB生2名⑤R.4.12.23河内木綿コットンセンター15名 計74名
 (*③は中臣幹事インストラクター資格取得し企業内WS実施)

【2】懇談会（検討会議と夢アドバイスの説明）
 ①検討会議 伝言板の検討R4.9.8
 ②R4.10.22 城東工科5名②R4.12.8会長倶楽部等③2月19日河内木綿はたおり工房15名*野田金属未実施

【3】夢スピーチコンテストへの推薦
 9月締切、該当者は6月頃に決定の予定（一社青少年夢応援隊<㈱サンクレスト内>）

【4】夢発表大会（延期）

夢ワークショップアンケート結果

100個のやりたいことを考え、語り合い、共感する。そして1つでも多く実現

<総括>夢を比較的多く見つけられた。自分と身近な人のサポートで実現したい

全体の感想・よかった（82%）、良くも悪くもない（18%）、よくなかつ（0%）
 自分の夢・多く確認（62%）・普通（32%）・あまり夢無（6%）
 夢の実現・自分だけで実現（12%）・自分と身近な人で実現（84%）・身近な人のサポートで実現（4%）
 <回答者感想：はじめは今更夢などないと思っていたが、グループで話し合うと意外に楽しかった。身近な目標や小さなことでもいいので少しずつ実行していきたい>
 (*5月18日24名はアンケート未実施 実施総数50人)

夢チラシと夢シール

チラシ（左）と夢シール（上）

チラシを参加動員用に、シールはWS参加者に配布した。参加者目標は150名も実績は半分程度。様々な課題が浮き彫りに



夢活

やりたいことを考えたり、話し合ったり、実現させようとしたりする取組

夢の実現を実践し、見つけ方や実現方法を提案

夢ワークショップの中小企業・学校等で実施

2023年度より新学習指導要領教育振興基本計画スタート

新年度より理系学生の増加の他、ウェルビーイングを第四次教育振興計画の柱に据えている

➡

↓

夢伝言版の作成

WS参加者との懇談会

* 中高等教育界の現場では夢活に対する理解は殆ど進んでいないのが現状

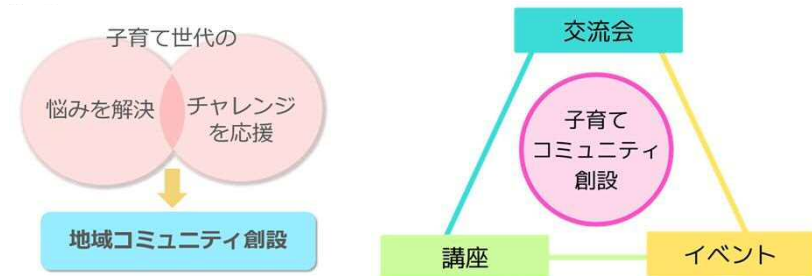
* 令和5年度は独自で夢活推進

2023年3月26日

親と子どもをサポートする 地域の子育てコミュニティ作り

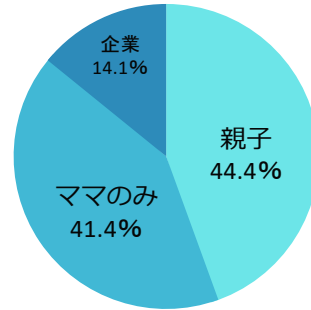
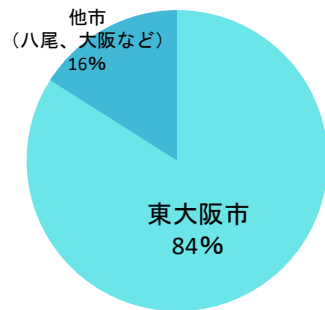
ハニカム東大阪
児島佐予子
濱崎智恵美

目的・内容



交流会 147名参加

毎週木曜日10:00-16:00
レンタルスペースえがお様



交流会 147名参加

毎週木曜日10:00-16:00
レンタルスペースえがお様



講座 32名参加 レンタルスペースえがお様



はなぞの祭

6月28日 (土)
レンタルスペースえがお様
来場者：18家族・48名



子ども店長

8月27日 (土)
レンタルスペースえがお様
来場者：26家族 (店長:12・一般:14)
85名 (チラシで15家族)



第3回むすんでひらく文化祭

12月17日 (土)
クリアホール布施
来場者：約250名



第3回むすんでひらく文化祭

12月17日(土)
クリアホール布施
来場者：約250名



ふわふわ遊具のみ 事前予約を実施

23家族(66名)中
20家族(60名)が
チラシからの応募

当日参加
14家族(38名)が
すべてチラシから

第4回むすんでひらく文化祭

3月5日(日)
石切回廊/ひらくきち
来場者：約600名



第4回むすんでひらく文化祭

3月5日(日)
石切回廊/ひらくきち
来場者：約600名



ひらくきち
会場



カフェ&バー神並
音楽イベント

第4回むすんでひらく文化祭

3月5日(日)
石切回廊/ひらくきち
来場者：約600名



縁JOYマルシェ
会場



totonoi様
Earlys cafe様
Awesome Pizza!!様





今後について

交流会
講座
イベント



企業様との
連携

人物図鑑
人財紹介
システムの
構築

社会資源開発研究会

「私たち自身が地域のインフォーマルな社会資源となることが目標です」

私たちの団体は福祉専門職で構成する有志団体です。活動目的は東大阪という地域に社会資源をつくっていくことです。現在は「若年性認知症」や「高次脳機能障害」の方の社会参加を促すことに主に取り組んでいます。具体的には月1回の当事者や家族の集まりの場を地域に設けてきました

ルンタニール「交流の場」 + 社会的な活動

活動実績

9月17日 講師：高次脳機能障害当事者会「え〜わの会」代表 松永裕介
「高次脳機能障害で当事者が困っていること」について 参加者12名

10月15日 講師：言語聴覚士 土屋笹奈氏 「失語症の基礎理解」参加者10名

11月19日 講師：ケアマネジャー 貴島孝浩 「高齢者サービス」参加者12名

12月17日 定例交流会（内部講師 社会福祉士 奥田真）参加者 10名

1月20日 定例交流会（内部講師 ケアマネジャー 伊藤節子）参加者10名

2月17日 定例交流会（内部講師 ケアマネジャー 岡本美弥子）参加者12名

3月17日 講師：全国若年性認知症連絡協議会 宮永和夫先生 参加者12名
市民を対象にした啓発講演会東大阪商工会議所にて以下の通り開催する。

12月17日 高次脳機能障害について学ぶための講演会を実施 参加者44名
講師：李クリニック 言語聴覚士 李彩織 講師：東大阪市社会福祉事業団 支援員瓜生彩子

3月4日 高次脳機能障害の理解について講演会を実施 参加者56名
講師：高次脳機能障害当事者会「え〜わの会」代表 松永裕介
講師：李クリニック 医師 李利彦

2023/3/22

地域の理解へ向けた講演会の実施

「講演会」+ 市民への理解

若年性認知症啓発セミナー
「若年性認知症の最大の課題とは」
日程：2022年 10:00～11:30
7月24日(日) (無料) 参加費0円～

2022年度 地域啓発勉強会
「高次脳機能障害の支援について」
日程：12月17日(土)
13:30～16:00 (無料) 19時00分～

高次脳機能障害を学ぶ
「第2回社会資源開発研究会講演会」
日程：令和5年 3月4日(土)
14:30～17:00(定額) 14時～1

会場：東大阪商工会議所 4階 大会議室2
〒571-0001 東大阪市長 2-1-1
近鉄東大阪線河内太田駅 徒歩5分


申し込み先
メール：a-spot-y@outlook.jp ファックス：072-951-9195
所属：名前 年齢 連絡先

主催：社会資源開発研究会
この事業は東大阪府地域まちづくり活動助成金を活用して開催しています

2023/3/2

活動の成果

- ①なかなか理解されにくいといわれている若年性認知症や高次脳障害の理解が一般市民に促された。
- ②福祉専門職の学びが深まり、そのような症状や障害がある方への支援の充実につながった。
- ③講演会を通じて、地域に支援のネットワークを作るきっかけとなり、困難を抱えた方が地域で孤立しないように、地域の共助へとつながった。



今回、専門としている医師だけでなく、当事者に登壇頂くことで、生活する上で、実際に困っていることや社会参加を進める上で考えてほしいことなどを、地域で学ぶ機会となりました。

この取り組みを継続し、地域で困難を抱える方が地域の中でお互い支えるような仕組みをつくり続けることができればと思います。

2023/3/22